

故名譽會員 中村男爵小傳

日本鐵鋼協會名譽會員 中村雄次郎男ハ昭和三年十月二十日薨去セラ
ラル享年七十七 嗚呼悲哉

男ハ嘉永五年和歌山藩士中村一貫氏ノ次男トシテ生レ維新後佛國ニ
遊學シ夙ニ身ヲ軍籍ニ置キ明治七年陸軍中尉トナリ爾來累進明治三十
五年陸軍中將ニ陞リ陸軍次官兼軍務局長ヨリ製鐵所長官トナリ貴族院
議員ニ勅選セラレ大正五年滿鐵總裁トナリ關東都督、宮内大臣等ニ歷
任シ功ヲ以テ正二位勳一等功四級男爵ヲ授ケラレ樞密顧問官ノ榮職ヲ
與ヘラル

男ハ頭腦明晰緻密ニシテ事ヲ處スルニ眞摯公平其軍務上ニ於ケル功
績ハ皆既ニ人ノ知ル處、其製鐵所長官トシテ八幡ニ赴任セラル、ヤ時
恰モ作業開始後萬難續出ノ時ニ際シ快刀亂麻ノ勇斷能ク之ニ處シテ誤
ラズ臥薪嘗膽能ク部下ヲシテ徐ロニ其業ヲ練リ其技ヲ磨カシメ又能ク
國產資料ノ改善利用ト之レガ開發ニ力メシメ以テ我邦ノ製鐵業ヲシテ
漸ク其緒ニ着カシメタルノミナラズ國力發展需要増進ニ對シテハ工場
設備ノ擴張ヲ計リ一面國防上ノ基礎ヲ鞏固ニシ民間製鐵業ノ勃興スル
ニ方リテハ又能ク之レヲ誘導援助シテ技術上ノ過誤ナカラシメ其滿鐵
總裁トシテ赴任セラル、ヤ遠キ慮リヲ爲シテ鞍山製鐵所ノ起業ヲ斷行
セラル、等我邦製鐵界ノ振興ニ對スル功ハ實ニ没スベカラザルモノ
アリ、之レ曩ニ本會ガ男ヲ名譽會員ニ推薦シテ男ノ製鐵業ニ對スル功
績ヲ表彰シタル所以ナリトス

本來製鐵事業ノ如キハ其經營至難ニシテ作業開始ニ方リテハ技術上
經濟上幾多ノ困難ニ遭遇スルハ固トヨリ其處ニシテ男ガ八幡製鐵所ニ
在任セラル、事十有四年其經濟上利益ヲ見ルニ至リタルハ實ニ僅ニ最
終ノ一兩年ニ過ギズシテ其大部分ノ任期ヲ世ノ短見者流ノ批難ニ忍從
セラレタル事、當時眞ニ同情ニ勝ヘザルモノアリシト雖モ今ヤ八幡製
鐵所ハ其技漸ク進ミ其規模益大ニ其年產將ニ百萬噸ニ達セントシ鞍山
製鐵所ノ擴張計畫亦着々其歩ヲ進メツ、アルモノ實ニ男ガ播種ノ功績
ニ負フ所多シト云フベシ 茲ニ謹ミテ哀悼ノ意ヲ表ス